



開倫ユネスコ協会 NewsLetter

第126号

足利市堀込町145 Tel 0284-72-5915

発行者 林 明夫 2018年12月1日

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

ユネスコ世界哲学の日



林明夫会長



岡田弘行最高顧問



荒川朋子校長



小林恵智先生



高尾初江事務局長



「平和の鐘」を鳴らす様子



講演会の様子・岡田弘行最高顧問



荒川朋子校長



小林恵智先生



会場の様子

毎年、11月第3木曜日は国際連合が定める「ユネスコ世界哲学の日」です。今年は11月15日が第3木曜日でした。開倫ユネスコ協会では、スプリングユネスコクラブ、伊豆ユネスコクラブと共催で、本年度の「ユネスコ世界哲学の日講演会」を東京駅丸の内北口の、日本工業倶楽部で開催させていただきました。今回、「今哲学をしようー価値・意味・秩序ー」を統一テーマとして、三つの記念講演が開催されました。

- ①「さあ、哲学しよう。五日市憲法草案に学ぶ」と題する、スプリングユネスコクラブ最高顧問の、岡田弘行先生の講演。
- ②「世界の農村指導者育成とサーバントリーダーシップ」と題する、学校法人アジア学院校長の、荒川朋子先生の講演。
- ③「自然界の課題は科学が担い、社会の課題は哲学が担う」と題する、伊豆ユネスコクラブ代表幹事の、小林恵智先生の講演。

アジア学院は、毎年20前後の言語や文化の違う国から農業を学ぶ人達のための専門学校で、自給自足の共同生活を行いながら、人種、文化の違いを互いに尊重しながら「食といのち」を大切にするコミュニティを基盤としたアジア農村指導者を育成している専門学校です。文化を越え平和を築く為、共に生きるために、実践されている『サーバント・リーダーシップ（支える指導者）』についてご紹介を頂きました。

小林代表より、戦後50年を機会に在米日本人会と退役軍人会有志が資金を出し合い、平和を願う要人に謹呈している反戦を誓うよう求めた『平和の鐘』が開倫ユネスコ協会会長に寄贈されました。

足利ユネスコ協会主催 「わたしの町のたからもの絵画展」

表彰式に参加

2018年11月17日(土)14:00からコムファースト・アピタ1Fのイベント広場にて、足利ユネスコ協会主催 わたしの町のたからもの絵画展 表彰式が執り行われました。今年第11回目の絵画展だそうです。

足利市内に住む小学生や中学生などから1157作品が集まり、71作品が入賞しました。会場にはその1157作品がすべて展示されています。表彰式が始まる前にご家族みんなで入賞作品をご覧になっていました。

受賞者おひとりおひとりの名前が呼ばれ、前に出て皆うれしそうに賞状を受け取っていました。すべての受賞者が済んで、最後に全員で記念写真を撮り終了となりました。なお、開倫塾賞には3名の小学生が選ばれました。

受賞者のみなさん、おめでとうございます。



表彰式の様子



1157作品がすべて展示された会場



足利ユネスコ協会 開倫塾賞

回収して
ます！

書き損じ
はがき

KAIRIN UNESCOASSOCIATION

開倫ユネスコ協会

UNESCO (United Nations, Educational, Scientific and Cultural Organization)
国際連合教育科学文化機関



すべての人に教育を

ユネスコ・世界寺子屋運動

全世界の問題を
一緒に考えてみよう

学校に行くことが
あたりまえじゃない
国がある。



世界には、内学校に行くことができない子どもたちが約6,100万人
文字の読み書きができない大人が約7億5,800万人います。
その全ての人々が教育を受けられるように始められた運動、
それがユネスコ世界寺子屋運動です。

※日本の人口は約1億2,700万人

あなたにもできる
国際協力

書き損じはがきをまとめて送って下さい

